



クイズや職場体験などを通して銀行の仕事

「子どもサマー・スクール」が7日、みずほ銀行那覇支店で開かれた。参加した12人の小中学生は本物の1億円を持ち上げ、重さを確かめたり、普段見ることのできない、銀行の内部を見学したりするなどして、銀行の仕事に理解を深めていた。

講師役の行員は、銀行の仕事として、お金を預か

る、お金を貸すの二つを挙げ「銀行が貸しているお金はみんなから預かっているお金なので、ちゃんとお金を返してくれるかどうかを確認して、お金を貸している」と説明した。

姉妹で参加した安江桜月さん(10)「豊見城市立上田小5年、夏月さん(9)」。同3年「1億円は重かった。貸金庫があることや、強盗が入らないようにカメラがたくさんあることを知った」と話した。

1億円重かった

みずほ銀で小中生職場体験



本物の1億円を持ち上げ、重さを確かめる子どもたち
＝7日、みずほ銀行那覇支店